

HS-4

HS-4は、シリコンスリップコーティング材で、密着向上剤XC9603および硬化触媒YC6831との組み合わせで使用されます。EPDM、シリコンゴムなど各種ゴム、各種繊維製品、合成皮革などの表面に、離型性、滑り性、耐摩耗性などに優れた弾性を有するシリコン皮膜を形成します。溶剤タイプですので、スプレー、ディップ、ハケ塗り、フローなどの方法で塗布します。

特長

- ドライな滑りを付与します。
- つや消しタイプです
- HS-3に比べ、耐熱性に優れています。
- 離形性に優れ、固着を防止します。
- 基材の耐摩耗性を向上させます。
- 撥水性を付与します。

用途

- シリコンゴム、EPDM、クロロプレン、エピクロルヒドリンゴム、NBR、各種繊維、合成皮革、紙

主な用途

- ドアシール用ゴムの固着防止
- パッキン、ガスケットの粘着・固着防止
- シート用ゴムの撥水、滑り防止
- ゴムロール等の滑り性改良
- 摩耗部品の摩耗防止
- ゴム表面の汚れ防止
- 振動部品から発生するキシミ音の防止
- 冷凍機器のドアシールの凍結固着防止

特性例

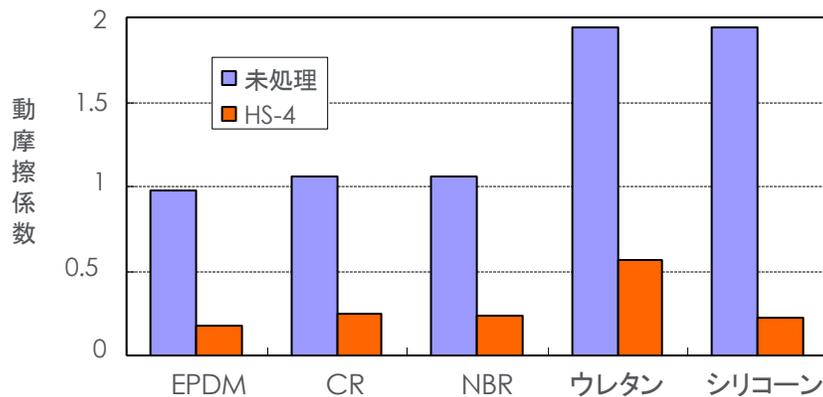
項目	HS-4	XC9603	YC6831
外観	白色溶液	淡黄色透明	淡黄色透明
粘度 (25°C) mPa·s	350	-	-
比重 (25°C)	0.92	0.83	0.99
有効成分 %	30	30	37.5
不揮発分 %	30(150°C、1h)	14(105°C、2h)	27(105°C、3h)
溶剤	キシレン	IPA	トルエン

被膜の特性

1. ガラス面に対する動摩擦係数

基材:ソリッドゴム材

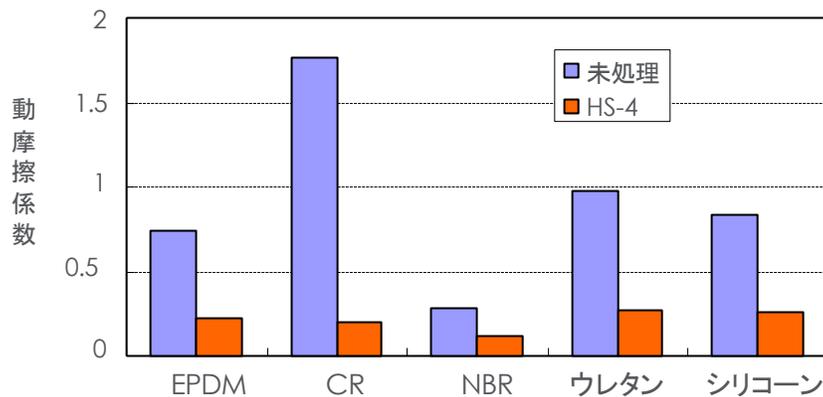
被摩擦体:ガラス板



2. ガラス面に対する動摩擦係数

基材:スポンジ材

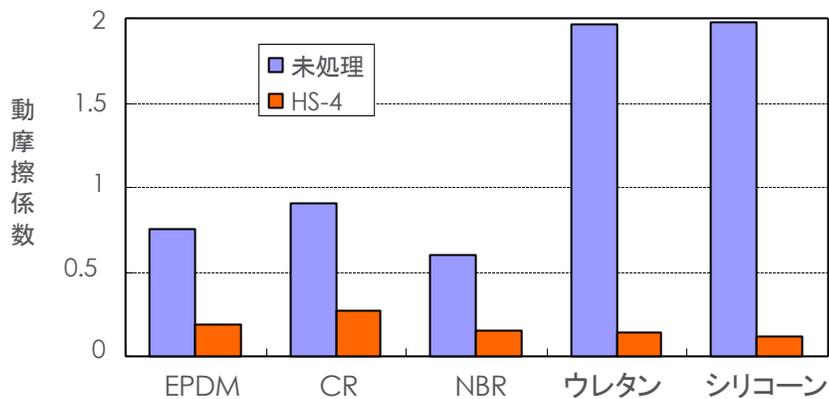
被摩擦体:ガラス板



3. PET 面に対する動摩擦係数

基材:ソリッドゴム材

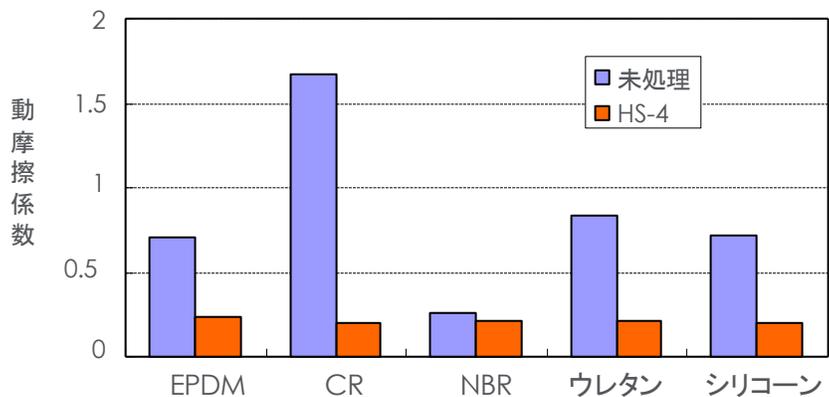
被摩擦体:PET フィルム



4. PET 面に対する動摩擦係数

基材:スポンジゴム材

被摩擦体:PETフィルム



使用方法

1. 標準配合処方

	重量部
HS-4	100
XC9603	50
YC6831	10
希釈溶媒	300

2. コーティング液の調製方法

上記の希釈溶媒およびHS-4を配合し、均一に攪拌します。次にXC9603、YC6831を別々に配合し、均一に攪拌します。なお、希釈溶媒としては、トルエン、キシレン、n-ヘキサン、MEK、IPA、イソパラフィン、ヘプタンなどを単独で、あるいはこれらの混合液を用いてください。また、可使時間は約8時間ですので、調整したコーティング液はその日のうちに使いきるようにしてください。

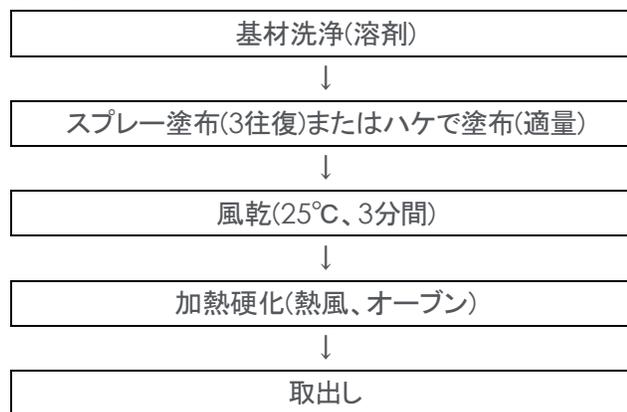
3. 塗布方法

スプレー、ディップ、フロー、ハケ塗り等の方法で塗布し、3分間風乾してください。

4. 加熱硬化条件

100℃で5～10分、あるいは150℃で2～5分、加熱硬化してください。

5. フローシート



特許状況

本書のいかなる内容についても、関連特許が存在しないことを暗示したものと解釈してはならず、またいかなる特許についても、その権利者による許可なく、その特許が対象とする発明を実施するための許可、誘因または推奨を構成するものと解釈してはなりません。

製品の安全性、取り扱いおよび保管

製品の安全情報、安全な取扱手順、個人用保護具(必要な場合)、緊急サービスの連絡先情報、および安全な保管に必要な条件については、最新の安全データシート (SDS) および製品ラベルで確認してください。SDS は www.momentive.com で入手するか、あるいは MPM の担当者にご依頼ください。他の素材を MPM 製品(例:プライマー)と合わせて使用する際は、追加的な注意が必要になる場合があります。他の素材の製造者による安全情報を読み、それに従ってください。

制限

お客様はモメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ製品を評価し、特定の用途に対する使用適合性をご自身で判断する必要があります。

お問合せ窓口

本製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。

モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社

インサイドセールス: Sales-JP.Silicones@momentive.com

免責条項

モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズならびにその子会社および関係会社（以下、総称して「サプライヤー」といいます）の素材、製品およびサービスは、サプライヤーの標準販売条件に基づき販売されています。この標準販売条件は、該当する販売代理店契約または販売契約に含まれており、注文確認書や請求書の裏面に印刷され、また要求に応じて提供可能です。本書に記載の情報、推奨、または提言は、誠意をもって提供されていますが、サプライヤーは明示的にも黙示的にも、(i) 本書に記載の結果が最終使用条件下でも得られること、および(ii) 製品、素材、サービス、推奨または提言に取り入れられている設計の有効性もしくは安全性について、いかなる保証もいたしません。サプライヤーの標準販売条件に定めのあるものを除き、サプライヤーおよびその代理人は、本書に記載の素材、製品またはサービスの使用によって生じたいかなる損害に対しても責任を負わないものとし、ます。サプライヤーの素材、サービス、推奨、または提言が、ユーザー自身の特定の使用目的に適合しているか否かの判断については、各ユーザー自身が全面的に責任を負います。各ユーザーは、すべてのテストや分析を特定および実施して、サプライヤーの製品、素材、またはサービスが組み込まれている最終製品が安全であり、最終使用条件における使用に適合していることを確認する必要があります。サプライヤーの署名入りの書面による合意がない限り、本書もしくはその他の文書または口頭による推奨または提言は、サプライヤーの標準販売条件の規定または本免責条項の変更、修正、優先、または権利放棄とはみなされないものとし、ます。本書に含まれる素材、製品、サービスまたは設計の使用可能性または使用提案に関するいかなる記載も、当該使用または設計を対象とするサプライヤーの特許その他の知的財産権に基づくライセンスを付与することを意図してはならず、あるいはライセンスの付与と解釈してはならず、また、何らかの特許その他の知的財産権を侵害する素材、製品、サービスまたは設計の使用の提案を意図してはならず、また使用提案として解釈してはなりません。

発行: 2000 年 10 月 / 改訂 © 2023 年 12 月 / HS-4